

検 定 意 見 書

受理番号 27-54		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	13	下	2ライフステージの特徴と発達課題の例 児童期 小学生のころ 及び、青年期 小学校高学年ころ～	相互に矛盾している。	3-(1)	
2	26	側注4	「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」。 2007年制定。	不正確である。 (「2007年」)	3-(1)	
3	40	図14	みかけに左右される ▲同じ数でも、みためが違うと違う数 や量に思ってしまう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「同じ数でも、」)	3-(3)	
4	47	囲み	みんなで楽しく遊べるおもちゃ 共有玩具マーク (2箇所)	不正確である。 (「共有」)	3-(1)	
5	48	22	子どもの成長・発達の道すじは、一人 ひとり大きく異なる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (子どもの成長・発達について)	3-(3)	
6	53	図38	集団保育の施設 地域型保育	生徒にとって理解し難い表現である。 (集団保育の施設の説明として)	3-(3)	
7	53	図38	[注] 「事業内保育所」	不正確である。 (「事業内保育所」)	3-(1)	
8	102		④トルコの肉料理。 及び、地図④	相互に矛盾している。	3-(1)	
9	105	図4	朝食の摂取と学力との関係 (中学生)	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)	
10	108	図9	国民一人1年当たりの品目別消費量の 推移	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 27-54		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	108	図10	外食率と食の外部化率の推移	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
12	109	図11	BMIによる肥満とやせの割合(2011年)	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
13	110	図13	栄養成分も水分もなくなった残りかすが便である。	不正確である。 (「なくなった」)	3-(1)
14	111	側注1	色や味, 香りの成分は, 総称してポリフェノールと呼ばれる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (色や味, 香りの成分がすべてポリフェノールであるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
15	112	図18	さつまいも 1食50g 1.9g	生徒が誤解するおそれのある表である。 (調理前のさつまいもの食物繊維量であるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
16	112	表16	おもな炭水化物の種類と働き(タイトル) 名称(物質名)	生徒にとって理解し難い表現である。 (表の内容に照らして)	3-(3)
17	114	囲み	22脂質の種類	生徒にとって理解し難い表現である。 (脂質の種類の説明として, 記述が整理されていない。)	3-(3)
18	115	7 - 9	最近, ダイエット効果を期待したジアシルグリセロールや中鎖脂肪酸, ビタミンEなどを配合した食用油なども市販されている。	不正確である。 (「ジアシルグリセロールや」)	3-(1)
19	115	囲み	油脂の調理性 乳化性 油の滴が水分中に分散し, 一時的に混ざり合うが, 乳化剤がないと分離してくる ドレッシング マヨネーズ	不正確である。 (ドレッシング, マヨネーズの乳化の説明として)	3-(1)
20	116	表27	B/A×100(アミノ酸価) [注] 文部科学省編「日本食品標準アミノ酸成分表2010」	不正確である。 (「アミノ酸価」, 「日本食品標準アミノ酸成分表2010」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 27-54		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	116	図28	食品のアミノ酸価	生徒にとって理解し難い表現である。 (図のアミノ酸価の算出方法について、基準が不明確)	3-(3)				
22	116	表29	たんぱく質の種類と働き	表29は、116～117ページの記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(12)				
23	117	8 - 9	赤身の魚 側注2 基準値以下だが、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「基準値」)	3-(3)				
24	117	表30	上の食品のアミノ酸価はアミノ酸評点パターン(18歳以上用)で計算した場合、すべて100。	誤りである。 (「すべて100。」)	3-(1)				
25	117	表34	乳化性 たんぱく質のレシチンは	誤りである。 (「たんぱく質の」)	3-(1)				
26	119	15	さわやかな酸味とうま味がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (くだもの類のうま味について)	3-(3)				
27	119	囲み	ビタミンと調理性 水溶性ビタミン 熱や酸による損失が大きい。 図38 ほうれんそうのゆで時間によるビタミンCの残存率	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (水溶性ビタミンの調理による損失について)	3-(3)				
28	122	3	栄養価も高い。 127ページ 旬のよさ 栄養価が高く、	生徒にとって理解し難い表現である。 (旬の食材の栄養価について、記述が不足している。)	3-(3)				
29	122	21	必要最低限の摂取となるよう適切に選択しよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「必要最低限の摂取」)	3-(3)				
30	124	図52	消費期限と賞味期限	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-54		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
31	126	4 - 5	年間約660万人の子どもが栄養失調で命を落としている。 側注1 毎日18,000人, 4.8秒に一人の幼い命が失われている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (子どもが命を落とす理由について)	3-(3)	
32	127	図63	旬とエネルギー (トマトの場合)	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)	
33	132 - 133	表68	日本人の食事摂取基準 (2015年版)	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)	
34	139	図86	蒸しもの 凝縮で加熱する。 寄せもの (0~5℃) 寒天, ゼラチン, でんぷんの液に食品を混ぜ合わせてかためる。例: プラマンジェ (でんぷん)	生徒にとって理解し難い表現である。 (蒸しもの, 寄せものの説明について, 記述が整理されていない。)	3-(3)	
35	139	図87	電磁調理器 電磁調理器と金属鍋の間に渦電流を起し, 鍋側に発生する抵抗熱で加熱する。	不正確である。 (「間に」)	3-(1)	
36	146	右	ごぼうサラダ 栄養価 (149ページ クラムチャウダーも同じ)	不正確である。 (材料の栄養価計算に照らして)	3-(1)	
37	147	左	ひじきの煮物 (151ページ 卵焼きも同じ)	生徒にとって理解し難い表現である。 (ひじきの煮物, 卵焼きの塩分量)	3-(3)	
38	156	左下	2汗や皮脂を吸収したシャツ ニンヒドリン溶液 (水300mLとニンヒドリン1gを混ぜた液) をスプレーして, 汗や皮脂を検出したもの。 及び, ニンヒドリンは, たんぱく質や	相互に矛盾している。	3-(1)	
			尿素に反応して青紫色に発色する薬品。			
39	160	囲み	毛や皮革などの繊維よりも熱伝導率が低い。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「皮革などの繊維」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 1 枚目

受理番号 27-55		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	12 - 13	下	2ライフステージの特徴と発達課題の例 児童期 小学生のころ 及び、青年期 小学校高学年ころ～	相互に矛盾している。	3-(1)
2	25	図2	初婚年齢の推移	不正確である。 (「初婚年齢」)	3-(1)
3	26	囲み	配偶者暴力防止法 高齢者虐待防止法（高齢者虐待の防止 ，高齢者の養護者に対する支援等に関する法律，2007年制定）	不正確である。 (「2007年」)	3-(1)
4	36	図1	羊膜の指示線	不正確である。 (指示線)	3-(1)
5	49	3 - 4	子どもの成長・発達の道すじは，一人 ひとり大きく異なるものです。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (子どもの成長・発達について)	3-(3)
6	50	図1	おもな子育て支援の例 くるみん 行動計画を立てていると認定されると	不正確である。 (「行動計画を立てていると認定」)	3-(1)
7	51	側注1	認可子ども園	誤りである。 (「認可子ども園」)	3-(1)
8	51	図3	集団保育の施設 地域型保育	生徒にとって理解し難い表現である。 (集団保育の施設の説明として)	3-(3)
9	51	図3	[注] 「事業内保育所」	不正確である。 (「事業内保育所」)	3-(1)
10	96		4トルコの肉料理。 及び、地図4	相互に矛盾している。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 27-55		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	98	図2	朝食の摂取と学力との関係（中学生）	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
12	99	図5	栄養成分も水分もなくなった残りかすが便である。	不正確である。 （「なくなった」）	3-(1)
13	101	図2	外食率と食の外部化率の推移	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
14	101	図3	BMIによる肥満とやせの割合（2011年）	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
15	102	図3	さつまいも 1食50g 1.9g	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （調理前のさつまいもの食物繊維量であるかのように誤解するおそれがある。）	3-(3)
16	102	表1	おもな炭水化物の種類と働き（タイトル） 名称（物質名）	生徒にとって理解し難い表現である。 （表の内容に照らして）	3-(3)
17	104	囲み	1脂質の種類	生徒にとって理解し難い表現である。 （脂質の種類の説明として、記述が整理されていない。）	3-(3)
18	105	7 - 9	最近では、ダイエット効果を期待したジアシルグリセロールや中鎖脂肪酸、ビタミンEなどを配合した食用油なども市販されています。	不正確である。 （「ジアシルグリセロールや」）	3-(1)
19	105	囲み	油脂の調理性 乳化性 油の滴が水分中に分散し一時的に、混ざり合うが、乳化剤がないと分離してくる ドレッシング、マヨネーズ	不正確である。 （ドレッシング、マヨネーズの乳化の説明として）	3-(1)
20	106	表2	B/A×100（アミノ酸価） 文部科学省編「日本食品標準アミノ酸成分表2010」	不正確である。 （「アミノ酸価」、 「日本食品標準アミノ酸成分表2010」）	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 27-55		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	106	図3	食品のアミノ酸価	生徒にとって理解し難い表現である。 (図のアミノ酸価の算出方法について、基準が不明確)	3-(3)
22	107	8	赤身の魚 側注5 基準値以下だが、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「基準値」)	3-(3)
23	107	表7	乳化性 たんぱく質のレシチンは	誤りである。 (「たんぱく質の」)	3-(1)
24	109	11 - 12	さわやかな酸味とうま味が特徴です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (くだもの類のうま味について)	3-(3)
25	109	囲み	ビタミンと調理性 水溶性ビタミン 熱や酸による損失が大きい。 図4 ほうれんそうのゆで時間による ビタミンCの残存率	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (水溶性ビタミンの調理による損失について)	3-(3)
26	114	13 - 14	年間約660万人の子どもが栄養失調で 命を落としています。 囲み 毎日18,000人、4.8秒に1人の幼 い命が失われています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (子どもが命を落とす理由について)	3-(3)
27	115	図6	旬とエネルギー (トマトの場合)	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
28	115	囲み	旬のよさ 栄養価が高く、	生徒にとって理解し難い表現である。 (旬の食べ物の栄養価について、記述が不足している。)	3-(3)
29	116	図1	乳児期 課題	相互に矛盾している。 (44ページ図1と矛盾)	3-(1)
30	118	表2	日本人の食事摂取基準 (2015年版)	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 4 枚目

受理番号 27-55		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
31	125	図16	寄せもの (0~5℃) 寒天, ゼラチン, でんぷんの液に食品を混ぜ合わせてかためる。例: プラマンジェ (でんぷん)	生徒にとって理解し難い表現である。 (寄せものの説明として)	3-(3)				
32	125	図17	電磁調理器 電磁調理器と金属鍋の間に渦電流を起こし, 鍋側に発生する抵抗熱で加熱する。	不正確である。 (「間に」)	3-(1)				
33	131	下	炒菜 しょうゆ…2.4g (小さじ1/3) 酒…2g (小さじ1/3) 133ページ トマトサラダ 酢…5g (小さじ1 1/2)	相互に矛盾している。 (123ページ 表9と矛盾)	3-(1)				
			裏見返4 ご飯を炊く 米…80g (カップ1/2)						
34	132	下	ごぼうサラダ 栄養価 (135ページ クラムチャウダーも同じ)	不正確である。 (材料の栄養価計算に照らして)	3-(1)				
35	133	上	ひじきの煮物 (137ページ 卵焼きも同じ)	生徒にとって理解し難い表現である。 (ひじきの煮物, 卵焼きの塩分量)	3-(3)				
36	142	左下	2汗や皮脂を吸収したシャツ ニンヒドリン溶液 (水300mLとニンヒドリン1gを混ぜた液) をスプレーして, 汗や皮脂を検出したもの。 及び, ニンヒドリンは, たんぱく質や	相互に矛盾している。	3-(1)				
			尿素に反応して青紫色に発色する薬品。						
37	143	13 - 16	防災加工された被服は着衣着火事故から体を守りますが, 表面フラッシュ現象などの事故や健康障害の原因になることがあります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (防災加工された被服が表面フラッシュ現象や健康障害をひきおこすかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)				
38	143	表8	えりのタグ 刺激の大きい糸の太いものやスケールのあるウールなどは, 直接肌に触れない	誤りである。 (対策として)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 27-58		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	18	囲み	結婚と離婚に関する民法の条文第762条 2. 夫婦のいずれかに属するか明らかでない財産は、	不正確である。 （「いずれかに」）	3-(1)
2	21	囲み	雇用について、日本を100人の国にたとえてみると…。 雇われているのは？ 女性18.5人	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
3	22	図17	家庭の役割	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
4	35	図9	子どもの自己中心性	生徒にとって理解し難い表現である。 （子どもの自己中心性の例示として）	3-(3)
5	42	上	みかん入りパンプディング 砂糖…15g（大きじ1）	相互に矛盾している。 （98ページ 食品の重量と容量のめやすと矛盾）	3-(1)
6	42	中	紙ヘリコプター ⑤はねに大きめの穴をあけ、	生徒にとって理解し難い表現である。 （「はねに」）	3-(3)
7	50	囲み	待機児童 幼い子ども2人の生命が奪われるという事件も起きており、	生徒にとって理解し難い表現である。 （どの事件を指すのかについて）	3-(3)
8	53	囲み	育児休業と保育・教育制度の連携（フランス） 就業前教育	誤りである。 （「就業前」）	3-(1)
9	61	図12	適切な介護施設に入れられない	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)
10	63	図13	二次認定審査 保険・医療・福祉の専門家による審査 （介護保険審査会）	不正確である。 （「保険」、「介護保険審査会」）	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 27-58		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	70	中	はじまり ユニバーサルデザイン 建築家であるロナルド・ロイス（アメリカ）	不正確である。 （「ロナルド・ロイス」）	3-(1)				
12	70	下	バリアフリーとユニバーサルデザイン 図	生徒にとって理解し難い図である。 （バリアフリーとユニバーサルデザインの関係について）	3-(3)				
13	75	側注1	農林水産省，厚生労働省，文部科学省 の連携で	不正確である。 （「厚生労働省，文部科学省」）	3-(1)				
14	80	15 - 16	貝類・いか・えびには15～18%，魚類 には約20%含まれる。	不正確である。 （「貝類・いか・えびには15～18%，」）	3-(1)				
15	83	囲み	ビタミンDと紫外線 紫外線に30分当てるだけでその量は4 倍になる。	生徒にとって理解し難い表現である。 （4倍となる条件について不明確）	3-(3)				
16	90	表14	ふつう（Ⅱ） 接客業，	誤りである。 （出典に照らして）	3-(1)				
17	91	表15	推定エネルギー必要量（参考表）	誤りである。 （出典に照らして）	3-(1)				
18	91	表16	日本人の食事摂取基準	誤りである。 （出典に照らして）	3-(1)				
19	93	表17	食品群別摂取量のめやす	誤りである。 （出典に照らして）	3-(1)				
20	103	中左	2…すまし汁 しょうゆ 塩分0.8%…1mL（小1/5）	生徒にとって理解し難い表現である。 （割合の表示と分量）	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-58		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	103	囲み	memo ほうれん草に下味をつけておくと、浸透圧の関係で野菜の水分がぬける。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「浸透圧の関係で野菜の水分がぬける。」)	3-(3)	
22	105	中	2…フレンチサラダ サラダ油…8～12mL (小2～3) 107ページ 1…青椒肉絲 酒…3mL (小1/2) 108ページ 1…ちらしずし	生徒にとって理解し難い表現である。 (「8～12mL (小2～3)」, 「3mL (小1/2)」, 「5mL (大1)」, 「2mL (小1/2)」)	3-(3)	
			しょうゆ…5mL (大1) 117ページ 餃子 ごま油…2mL (小1/2)			
23	108	左	ちらしずし 2しいたけの戻し汁にAを加え、しいたけとかんぴょうを煮て、味を含ませる。 材料	生徒にとって理解し難い表現である。 (しいたけの戻し汁の分量が不明)	3-(3)	
24	109	下	世界の米料理を見てみよう かゆ・ちまき・ビーフン ビビンバ・クッパ ドベル・ドルマス ジョロフ・ライフなど	生徒にとって理解し難い表現である。 (各国の米料理について、記述が整理されていない。)	3-(3)	
25	118	図34	日本の食料消費の変化	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)	
26	119	図36	もし、食品の輸入がストップしたら、どんな食事になるの？	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)	
27	128	図3	被服内湿度 (RH%)	不正確である。 (「RH%」)	3-(1)	
28	129	左上	トガのイラスト	不正確である。	3-(1)	
29	137	側注1	家庭用品品質表示法の改定が行われ次第、新たな記号が義務づけられる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「改定が行われ次第」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 27-58		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
30	138	側注4	日本繊維製品・クリーニング協議会が、クリーニング事故防止システムをインターネット上に公開している。	誤りである。 (「クリーニング事故防止システムをインターネット上に公開している」)	3-(1)
31	181	図18	消費者の権利と消費者の責任	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
32	187	囲み	高まる温暖化の実感 飯田市民の地球温暖化の実感	生徒にとって理解し難い図である。 (単位)	3-(3)
33	191	囲み	家計収支を見てみよう 収入がいくら以上あれば貯蓄することができるか？	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (与えられた条件で算出できない。)	2-(13)
34	191	囲み	家計収支を見てみよう エンゲル係数(消費支出に占める食料費の割合)を算出しなさい。 及び、消費支出の費目別構成比 食料 26.6%	相互に矛盾している。	3-(1)
35	192	6 - 7	中年以降の世帯の大きな目的は老後の生活費である(図5)。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「図5」)	3-(3)
36	200	図2	文部科学省「子どもの学習費調査(2012年度)」による	不正確である。 (「子ども」)	3-(1)
37	口絵4		刺し子	発展的な学習内容には該当しない。	2-(14)
38	口絵4		発展	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(16)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 1 枚目

受理番号 27-59		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	口絵I II		「100年前」「ここ」 乳児死亡率：18.5% (同ページ 乳児死亡率：2.3%, 52%も同じ)	不正確である。 (乳児死亡率の単位)	3-(1)				
2	6	右	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ (186ページ 上 学校家庭クラブも同じ)	不正確である。 (学校家庭クラブ)	3-(1)				
3	6	右	東日本大震災と私たちの生活①-IV 東日本大震災と私たちの生活②-V 及び, IVページ Vページ	相互に矛盾している。	3-(1)				
4	20	図	自分自身の経済的自立についてどう考えているか?	生徒にとって理解し難い図である。 (単位)	3-(3)				
5	23	側注2	見た目とつくられた味を本来の味と思うようになり, 食物のほんとうのおいしさを見失ったり, 栄養バランスを考えにくくなったりする。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「つくられた味」, 「本来の味」, 「ほんとうのおいしさ」, 「栄養バランス」の関係について)	3-(3)				
6	24	3 - 5	1975年ごろに, 米を主食にして魚, 肉, 野菜などの副食をとるといふ栄養バランスのよい和食文化を築いた(図1 図2)。 図1 エネルギー源となる栄養バラン	生徒にとって理解し難い表現である。 (1975年ごろの栄養バランスのよい和食文化とPFCの適正比率について)	3-(3)				
			スの変化 農林水産省「食料自給表」による						
7	25	5 - 6	増加した疾患は医療技術とは関係がない, 生活習慣病である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「医療技術とは関係がない,」)	3-(3)				
8	25	6 - 8	糖尿病は血糖値の急激な上昇が原因なので, 野菜を多くとることが予防につながる(図4)。 図4 野菜を食べることと血糖値の変化	生徒にとって理解し難い表現である。 (糖尿病の原因, 野菜を多くとることと食べる順を変えることによる血糖値の変化などについて, 記述が整理されていない。)	3-(3)				
9	25	側注1	運動不足や塩分のとりすぎが原因である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (高血圧の原因について)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 2 枚目

受理番号 27-59		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	26	3 - 4	静かにしている状態を安静時代謝量という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (安静時代謝量について)	3-(3)				
11	27	2 - 3	残りの20%がたんぱく質と骨である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (骨の成分について)	3-(3)				
12	32	側注4	分子構造のなかに二重結合を二つ以上持っている脂肪酸で、必須脂肪酸。	不正確である。 (多価不飽和脂肪酸の説明として)	3-(1)				
13	32	表8	パルチミン酸	誤りである。 (「パルチミン」)	3-(1)				
14	36	14	水溶性ビタミンはとりすぎても尿中に排せつされる。 側注2 ビタミンAは、錠剤やドリンク剤などでとりすぎると体内にたまり、害になることがある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ビタミンの過剰摂取について)	3-(3)				
15	38	側注1	新しい表示基準は2020年から適用される。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (適用年について、記述不足)	3-(3)				
16	40	図23	PH調整剤	表記の基準によっていない。 (「PH」)	3-(4)				
17	40	右下	遺伝子組換え食品 大豆食品、じゃがいも、とうもろこし、パパイヤなど8品目と、これらを主原料とする加工食品に、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「大豆食品」)	3-(3)				
18	43	3 - 4	日本では、細菌による食中毒が多く①、年間を通じて発生しており②、死者も出ている。 表17 細菌性 ウィルス性 側注1, 2	不正確である。 (食中毒の分類, 発生状況)	3-(1)				
19	48	右上	若たけ汁 しょうゆ…2mL (小1/2) 50ページ 麻婆豆腐 サラダ油…4mL (小1) 拌三絲 酢…7mL (大1/2) 54ページ ひじきとさやいんげんのか	生徒にとって理解し難い表現である。 (「2mL (小1/2)」, 「4mL (小1)」, 「7mL (大1/2)」, 「2.5mL (小さじ1/2弱)」)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 27-59		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			んびら しょうゆ…2.5mL (小さじ1/2弱)						
20	50		麻婆豆腐 材料 水ときかたくり粉及び、つくり方4, 5 54ページ オープントンカツイラスト4, 写真及び、つくり方5, 6	相互に矛盾している。	3-(1)				
21	54	左上	ひじきとさやいんげんのきんぴら 栄養価 (55ページ 米粉蒸しパンも同じ)	不正確である。 (材料の栄養価計算に照らして)	3-(1)				
22	56	右下	食品衛生法にもとづき、残留基準を定めた。 57ページ 側注2 残留基準値が設定されている。	不正確である。 (「残留基準」, 「残留基準値」)	3-(1)				
23	57	14 - 15	一定の濃度をこえた米は、国により買い上げられ、工業用糊などに利用される。	不正確である。 (一定の濃度をこえた米の扱いについて)	3-(1)				
24	57	図31	食品安全委員会は、添加物・農薬・特定保健用食品などの健康影響評価(リスク評価)を、科学的かつ中立の立場で行う。 囲み 添加物としての抗生物質	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (食品安全委員会のリスク評価についてなどの記述が不足しており、誤解するおそれがある。)	3-(3)				
			抗生物質がきかないからだになるおそれがある。						
25	58	側注2	日本はカロリーベースでの食料自給率を2022年度には50%にするという目標を示している。	誤りである。 (「2022年度」)	3-(1)				
26	60	左中	農業就業人口の推移 農業に携わる人の平均年齢	生徒にとって理解し難い表現である。 (調査対象者について不明確)	3-(3)				
27	65	右下	繊維製品事故の割合	不正確である。 (落下事故)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-59		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
28	67	囲み	取扱い絵表示の国際統一化 *家庭用品品質表示法の改正・施行までは従来の記号L0217（図6）が表示される。	不正確である。	3-(1)	
29	87	表1	長所や短所などの特徴 管理や修繕は管理組合で共同で行う。 住宅や庭の維持管理は自分で行う。	生徒にとって理解し難い表現である。 （集合住宅、戸建て住宅の特徴として）	3-(3)	
30	132	左	憲法第24条 1婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し、	不正確である。 （「基づいて」）	3-(1)	
31	133	右	事実婚・同性婚 同性婚は、同性同士が夫婦として暮らしている関係。 及び、下 囲み 家族に関する法律 1夫婦に関する法律	相互に矛盾している。	3-(1)	
32	136	15 - 16	従来の家族イメージとはまったく異なる性的マイノリティ	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
33	137	囲み	男女共同参画基本法第2条	不正確である。 （「男女共同参画基本法」）	3-(1)	
34	156	囲み	原始反射 吸啜反射など	誤記である。 （「啜」）	3-(2)	
35	157	右上	ベビースキーマ その容姿を多くの人が“かわいい”と自然に感じることを「ベビースキーマ」と呼ぶ。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ベビースキーマについて）	3-(3)	
36	165	図19	育児休業を取得しなかった理由（複数回答） 業務が繁忙である 取得したかったができなかった者 63.9	誤りである。 （出典に照らして）	3-(1)	
37	168	4 - 6	2001年から2011年の約10年で、被保護世帯数は約100万世帯から約180万世帯へと増え、	不正確である。 （「約100万世帯から約180万世帯へと増え」）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 27-60		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	口絵7	下	文様	発展的な学習内容には該当しない。	2-(14)				
2	11	図12	現職の雇用形態についての主な理由	生徒にとって理解し難いグラフである。 (単位)	3-(3)				
3	21	囲み	33家庭内暴力とDV防止法 正式名称は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」という。	不正確である。 (「保護に」)	3-(1)				
4	24	中	6憲法改正のための国民投票年齢 「日本国憲法の改正手続に関する法律(国民投票法)」が2011年5月に施行され、	不正確である。 (「2011年」)	3-(1)				
5	28	囲み	人工妊娠中絶件数の図	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)				
6	30	図13	右 身長・体重 乳児 (1/4), 高校生 (1/8) 乳児, 高校生のイラスト	生徒にとって理解し難い表現である。 (乳児と高校生の成長の様子について)	3-(3)				
7	34	表17	1か月ころの運動姿勢 イラスト (左右非対称)	生徒にとって理解し難い図である。 (左右非対称について)	3-(3)				
8	35	表17	言葉欄 2歳半ころ 二字文と羅列的表現 オオキイ, パンパン,	生徒にとって理解し難い表現である。 (この時期の言葉の発達について)	3-(3)				
9	39	囲み	みかん入りパンプディング 砂糖…15g (大1) 112ページ 1青椒肉絲 サラダ油…4g (小1弱)	相互に矛盾している。 (100ページ 食品の重量と容量のめやすと矛盾)	3-(1)				
10	45	図42	横軸	図は、通常の方法に従って記載されていない。 (横軸の目盛り)	固有 3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 27-60		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	45	囲み	待機児童 幼い子どもふたりの生命が奪われると いう事件も起きており、	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの事件を指すのかについて)	3-(3)
12	47	図	児童虐待の相談対応件数 横軸	図は、通常の方法に従って記載されていない。 (横軸の目盛り)	固有 3-(1)
13	58	側注2	擁護者による高齢者への虐待は、	誤記である。 (「擁護者」)	3-(2)
14	59	上	16介護保険制度のしくみ 二次認定審査 保険・医療・福祉の専門家による審査 (介護保険審査会)	不正確である。 (「保険」, 「介護保険審査会」)	3-(1)
15	71	図5	食卓にひじをつかない 77.8	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
16	77	囲み	米粉 消化のスピードがゆるやかで腹持ちが よい。	生徒にとって理解し難い表現である。 (米粉の消化のスピードについて)	3-(3)
17	79	4 - 5	飽和脂肪酸は18歳以上で目標量が定め られ、男女共エネルギー比率7.0%で ある。	不正確である。 (「7.0%」)	3-(1)
18	79	表26	牛脂(ヘッド) オレイン酸, パルミチン酸, ステアリ ン酸など飽和脂肪酸を50%程度含む。	不正確である。 (「オレイン酸」)	3-(1)
19	80	図27	とりすぎた場合 脂肪の摂取量も増え、肥満になる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何をとりすぎた場合であるのかについて、記述が 整理されていない。)	3-(3)
20	80	囲み	スポーツ選手とプロテイン 脂質が少なく、消化吸収しやすいたん ぱく質が多く、筋肉のもとになるBCAA (分岐鎖アミノ酸: バリン・ロイシン ・イソロイシン) が豊富なホエイプロ	生徒にとって理解し難い表現である。 (「筋肉のもとになるBCAA」)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 27-60		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			テイン（乳清たんぱく質）が利用される。						
21	81	2 - 3	貝類・いか・えびには15～18%，魚類には約20%含まれる。	不正確である。 （「貝類・いか・えびには15～18%，」）	3-(1)				
22	82	表33	カルシウム 泌尿器系・結石	誤記である。 （「・」）	3-(2)				
23	82	側注1	使用基準が示されているものは	生徒にとって理解し難い表現である。 （「使用基準」）	3-(3)				
24	84	18	熱に弱いため、生野菜として食べるとよい。	生徒にとって理解し難い表現である。 （どのビタミンについての記述であるかが不明）	3-(3)				
25	85	囲み	サプリメント 同じビタミンでも食物からとるものとサプリメントからとるものはまったく同じものではない。	生徒にとって理解し難い表現である。 （食物からとるビタミンとサプリメントからとるビタミンの違いについて）	3-(3)				
26	95	表58	月見そば そば 997L	不正確である。 （「997」）	3-(1)				
27	96	図62	食事摂取基準の指標 A推定平均必要量 必要量と平均値の推定値 B推定量	誤りである。 （「必要量と」，「推定量」）	3-(1)				
28	97	表65	ふつう（Ⅱ） 接客業，	誤りである。 （出典に照らして）	3-(1)				
29	97	表66	米1 1/4～1 3/4カップ（200～280mL） 108ページ 3ほうれん草のごまあえ しょうゆ…4mL（小4/5弱） 110ページ 2フレンチサラダ サラダ油…8～12mL（小2～3）	生徒にとって理解し難い表現である。 （「1 1/4～1 3/4カップ（200～280mL）」，「4mL（小4/5弱）」，「8～12mL（小2～3）」，「1.5g（1/2）」，「3mL（小1/2）」）	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 27-60		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			111ページ マヨネーズソースの作り方 砂糖…1.5g (1/2) 112ページ 1青椒肉絲 B酒…3mL (小1/2)						
30	102	中	3豚肉のしょうが焼き 栄養価 (105ページ 1スパゲッティ・ナポリタンも同じ)	不正確である。 (材料の栄養価計算に照らして)	3-(1)				
31	121	右下	トガのイラスト	不正確である。	3-(1)				
32	129	側注2	家庭用品品質表示法の改定が行われ次第、新たな記号が義務づけられる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「改定が行われ次第」)	3-(3)				
33	130	側注4	日本繊維製品・クリーニング協議会が、クリーニング事故防止システムをインターネット上に公開している。	誤りである。 (「クリーニング事故防止システムをインターネット上に公開している」)	3-(1)				
34	137	上	スナップのつけ方	誤記である。 (「スナップのつけ方」)	3-(2)				
35	141	中	Ⅲ分散作用 ①新たにカップA'には水、カップB'には洗剤を用意する。	不正確である。 (「洗剤」)	3-(1)				
36	142	右下	成人女性用 バスト区分 バストサイズに対応した記号で表記。 3～15cmまでは3cm間隔。	誤りである。 (「3～15cm」)	3-(1)				
37	172	図26	飯田市民の地球温暖化の実感	生徒にとって理解し難い図である。 (単位)	3-(3)				
38	178	図8	世帯主年代別にみた貯蓄の目的	生徒にとって理解し難い図である。 (単位)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 27-70		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	2	右	もくじ 食文化の歴史と変遷	相互に矛盾している。 (123ページと矛盾)	3-(1)
2	26	13 - 14	「婚姻は、両性の合意のみに基づいて 成立し、…」ととくに定めて、	不正確である。 (「基づいて」)	3-(1)
3	27	右	3親子・扶養に関する法律（民法） 第820条 親権を行う者は、子の監護及び教育を する権利を有し、義務を負う。	不正確である。 (条文に照らして)	3-(1)
4	29	13 - 14	1977年の改正で差別禁止の範囲が拡大 し、 (側注3 1977年の改正も同じ)	不正確である。 (「1977年」)	3-(1)
5	40	5 - 6	乳児は、生理的欲求を親から満たして もらうことで喜びと満足感を得ること ができ、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (愛着の形成について、誤解するおそれがある。)	3-(3)
6	40	側注3	ジョン・ボウルビィ (1907-1980)	不正確である。 (「1980」)	3-(1)
7	47	図4	横軸	図は、通常の方法に従って記載されていない。 (横軸の目盛り)	固有 3-(1)
8	48	囲み	3発達障がいに関する相談窓口 発達障害情報・支援センター (厚生労 働省)	不正確である。 (「厚生労働省」)	3-(1)
9	54	図3	子どもをもって負担に感じる事	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
10	62	図2	韓国 アメリカ	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 27-70		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	86	図3	米の成分の図	生徒にとって理解し難い表現である。 (その他の成分, 各成分の値)	3-(3)
12	89	下	6アミノ酸価の求め方 最も充足率の低いアミノ酸(第一制限アミノ酸)の比率をその食品の「アミノ酸価」とする。 右図 イソロイシン, リシン	生徒にとって理解し難い表現である。 (アミノ酸価について, 記述が整理されていない。)	3-(3)
			数字は, 精白米の必須アミノ酸量のアミノ酸価。		
13	99	表4	日本人の食事摂取基準	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
14	101	表3	4つの食品群別摂取量の目安	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
15	103	表4	昼食 おにぎり ご飯 夕食 飯 ご飯	相互に矛盾している。 (101ページ 表4と矛盾)	3-(1)
16	110	右下	豚肉とこまつなの丼 しょうゆ(肉の0.5%塩分)…3mL 112ページ 中華風コーンスープ 食塩(材料の0.5%塩分)…2.5g 113ページ 豚肉の野菜巻き	生徒にとって理解し難い表現である。 (割合の表示と分量)	3-(3)
			サラダ油(材料の2.5%)…2.5mL リボンサラダ サラダ油(にんじんの20%)…6mL 116ページ チンゲンサイのクリーム煮		
			サラダ油(野菜の10%)…10mL れんこんのきんぴら サラダ油(材料の4%)…2mL		
17	114	左下	きゅうりの酢の物 こんぶ…2cm角	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (合わせ酢とこんぶの比率)	2-(13)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 27-70		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
18	118	図1	横軸	図は、通常の方法に従って記載されていない。 (横軸の目盛り)	固有 3-(1)
19	119	図3	リスク管理員機関	誤りである。 (「管理員」)	3-(1)
20	121	16 - 17	2016年度までの5年間の目標値を掲げた	不正確である。 (「2016年度」)	3-(1)
21	125	下	食生活に関わる職種 製菓衛生士	誤りである。 (「製菓衛生士」)	3-(1)
22	133	右下	ISO (国際標準化機構) による取り扱い 表示の例 漂白 塩素系漂白ができる。	誤りである。 (「塩素系」)	3-(1)
23	134	下	ひとくちメモ 海島綿はカリブ海の西インド諸島で栽培されるとも高級な綿。16世紀、コロンブスによって発見され、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「コロンブスによって発見され」)	3-(3)
24	142	下	ひとくちメモ 17世紀にイギリスの海軍の制服であったセーラー服	誤りである。 (「17世紀」)	3-(1)
25	154	2	部屋と部屋との位置関係を間取りという。 5行 住空間の配置をゾーニングという。	生徒にとって理解し難い表現である。 (間取りとゾーニングの違いについて)	3-(3)
26	158	図2	耐震構造 耐力壁、筋かいの図	生徒にとって理解し難い表現である。 (筋かい、構造用合板、耐力壁について、記述が整理されていない。)	3-(3)
27	173	表3	(文部科学省「平成24(2012)年度 子どもの学習費調査」)	不正確である。 (「子ども」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 1 枚目

受理番号 27-71		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	14	図6	世帯数の変化	不正確である。 (出典)	3-(1)
2	16	囲み	家庭の問題～家庭内暴力～ 2006年高齢者虐待防止法が定められた。	不正確である。 (「2006年」)	3-(1)
3	18	囲み	フランスの場合 (PACS) 即婚者と同等の権利	誤記である。 (「即婚者」)	3-(2)
4	20	左下	婚姻 (日本国憲法) ①婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し、	不正確である。 (「基づいて」)	3-(1)
5	22	囲み	新生児期の特徴 生歯	生徒にとって理解し難い表現である。 (新生児期の生歯の特徴として)	3-(3)
6	25	左上	生活習慣 はいはいやつかまり立ちをする 折込4 夜泣きをする	相互に矛盾している。 (31ページ 「2生活習慣とは」と矛盾)	3-(1)
7	32	表5	*母乳の場合、ビタミンKはドロップなどで補う。	不正確である。 (「ドロップ」)	3-(1)
8	36	表11	模倣遊び (ごっこ遊び 1歳半～6・7歳)	生徒にとって理解し難い表現である。 (模倣遊びの変化のめやすとして)	3-(3)
9	39	図	初婚年齢の推移	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
10	40	図3	子どもを育てていて負担に思うことや悩み	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 2 枚目

受理番号 27-71		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	40	囲み	児童虐待とは 児童虐待の4つの種類 児童相談所における児童虐待相談の種類と虐待者の内訳の図 (グラフはすべて、厚生労働書「福祉行政報告例」平成23年より)	不正確である。 (4つの種類の説明, 「厚生労働書」, 「平成23年」)	3-(1)				
12	49	図6	高齢者の地域活動・ボランティア活動への参加	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)				
13	50	7 - 10	日本の高齢化率は、1970年に7%に達したのち、2007年には超高齢社会をむかえており、2050年にはさらに40%に、2060年には2.5人に1人が65歳以上になることが予測されている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「2050年にはさらに40%に、2060年には2.5人に1人が」)	3-(3)				
14	50	図3	平均寿命の推移と高齢期の割合	不正確である。 (「高齢期の割合」)	3-(1)				
15	56	上	地域の祭りや、自治体・福祉施設などが行っている世代間交流の施設、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「世代間交流の施設」)	3-(3)				
16	63	図8	(農林水産省「食料需給表」平成23年度より)	不正確である。 (「平成23年度」)	3-(1)				
17	63	図9	品目別食料自給率(カロリーベース)	不正確である。 (「カロリーベース」)	3-(1)				
18	64	10 - 11	旬の食材は、安価で味がよく、栄養的にもすぐれている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (旬の食材の栄養価について、記述が不足している。)	3-(3)				
19	65	囲み	環境をを考えて食べよう！ ①②は厚生労働省「食品廃棄物の利用状況について」,	不正確である。 (「厚生労働省」)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-71		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
20	65	図	環境を考えて食べよう！ ⑤食品を使用せずに廃棄した理由	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)				
21	66	図1	脂質 左上の写真	生徒にとって理解し難い写真である。 (何の写真であるかが不明)	3-(3)				
22	67	1	2栄養素の働き(復習しよう！)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「復習しよう！」)	3-(3)				
23	68	囲み	トランス脂肪酸 日本でも2013年に消費者庁による含有 量表示のガイドラインが発表された。	不正確である。 (「2013年」)	3-(1)				
24	68	側注4	血液中の脂質が多すぎることでおこり	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (脂質異常症について)	3-(3)				
25	69	表8	*成長期の子どもには必須である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必須アミノ酸について)	3-(3)				
26	69	右下	たんぱく質の補足効果とは？ 図 89 (リシン) ※現在では「日本人が食べているたん ぱく質については、アミノ酸価を充足 しないものはない(日本食品標準成分	生徒にとって理解し難い表現である。 (アミノ酸価について、記述が整理されていない。)	3-(3)				
			表準拠アミノ酸成分表2010より)」と されている。						
27	70	図10	ナトリウム(食塩相当量)の目標量と 実際の摂取量(目標量をオーバー) 実際の摂取量	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)				
28	71	7 - 11	水溶性ビタミンは、過剰に摂取しても 、基本的には尿などと一緒に排出され るため、過剰症はおこらないが、脂溶 性ビタミンは、サプリメントなどで過 剰に摂取し続けると、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (水溶性ビタミンの過剰症について)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 4 枚目

受理番号 27-71		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
29	71	左	水の働き 豊田功ほか「図表 食品学と食生活（第2版）」などより作図	誤りである。 （「豊田功」）	3-(1)				
30	74	図19	（厚生労働省「国民健康・栄養調査」平成23年より）	不正確である。 （「平成23年」）	3-(1)				
31	75	図22	卵白の栄養 卵黄の栄養	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)				
32	76	囲み	バターをつくってみよう！ *分離した液体部分はホエイとよばれ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ホエイについて）	3-(3)				
33	78	図	【日本人の食塩摂取量の推移】	誤りである。 （出典に照らして）	3-(1)				
34	79	表31	保健機能食品の位置づけ	生徒にとって理解し難い表現である。 （特定保健用食品のマークの位置）	3-(3)				
35	80	左下	新鮮な食品の選び方 肉類 右の写真	生徒が誤解するおそれのある写真である。 （例として極端すぎるため、古い肉の外観について誤解のおそれがある。）	3-(3)				
36	81	囲み	冷蔵庫の温度帯と保存食品 チルド 冷蔵庫より低く、 野菜室 冷蔵庫よりやや高めの温度。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「冷蔵庫より」（2箇所））	3-(3)				
37	83	表	食品添加物の種類 品質の向上 風味、外観の向上	生徒にとって理解し難い表現である。 （食品添加物の種類について、記述が整理されていない。）	3-(3)				
38	88	表	【身体活動レベル別推定エネルギー必要量（参考表）】 （kcal）	不正確である。 （「kcal」）	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 5 枚目

受理番号 27-71		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
39	89	表	【日本人の食事摂取基準】	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)				
40	93	囲み	※東アジアやアフリカなどでは手による手食も多い。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (東アジアの食べ方について)	3-(3)				
41	97	上	豚の冷しゃぶ こんぶだし材料 水 25mL こんぶ(素干し) 5g 99ページ 野菜のホイル焼き たまねぎのイラスト 105ページ 厚揚げの炒め蒸し	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (水に対するこんぶの量, たまねぎ薄切りの切り方, 沸かした湯の使い道, 中華だしを溶く水の量などについて)	2-(13)				
			①なべに水を入れ, 湯を沸かす。 106~107ページ 五目団子スープに挑戦! 中華だし…規定の1/2~2/3で溶く 中華だしは使用せず, 干しいたけの						
			戻し汁を薄めて使用する。						
42	106 - 107	中	工夫ポイント 幼児食用 下ごしらえ ◎舌でつぶせるよう, かたいものはみじん切りにする, またはすり鉢でする。 (噛めないからやわらかいものがいいなあ…) 本調理 ◎調味料Cのごま油は, 乳児期初期は控え, 中後期に徐々に風味づけしていくとよい。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの時期の食事の工夫かについて, 不明確)	3-(3)				
43	113	囲み	ライフステージのなかの行事と和装の例 及び, 浴衣	相互に矛盾している。	3-(1)				
44	114	図1	繊維が布になるまで 紡糸 及び, 同ページ 17~18行 原料から化学繊維をつくることを紡糸という。	相互に矛盾している。	3-(1)				
45	118	下	ゆかたのそで 図	生徒にとって理解し難い図である。 (肩)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 6 枚目

受理番号 27-71		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
46	119	囲み	コルセットは14世紀後半に、ヨーロッパでからだの線を整えるための補正下着として登場した。	不正確である。 (「14世紀後半」)	3-(1)
47	121	表4	易燃性 繊維の例	生徒が誤解するおそれのある表である。 (キュプラ、レーヨン、綿とアセテート、アクリルなどの燃え方が同じであるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
48	124	表8	商業洗濯の種類 及び、家庭洗濯	相互に矛盾している。	3-(1)
49	124	表8	特徴 水溶性塗料で染色した衣服は色落ちする可能性がある。	誤りである。 (「水溶性塗料」)	3-(1)
50	130	図1	$\text{輸入浸透度} = \text{輸入量} \div (\text{生産量} + \text{輸入量} - \text{輸出货量})$	不正確である。 (輸入浸透度の式)	3-(1)
51	131	囲み	ムダのない衣服生活を 繊維製品の廃棄率 (日本総合研究所資料より作成)	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
52	132	上	流行色とは? そして、6か月前～実際のシーズンにかけてコレクションやアパレル展示会によって公表される。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (流行色の公表時期について)	3-(3)
53	149	囲み	グループホーム	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (認知症の高齢者が共同生活をする地域密着型の介護施設であるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
54	151	図4	検察混合廃棄物	誤記である。 (「検察」)	3-(2)
55	169	囲み	給与明細の読みとき方 所得労働時間を超えて働いた時に手当が支給される。	不正確である。 (「所得労働時間」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

7 枚中 7 枚目

受理番号 27-71		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
56	172	図1	小型家電リサイクル法 (2002年制定, 2008年改正)	不正確である。 (「2002年制定, 2008年改正」)	3-(1)				
57	181	図4	(厚生労働省「厚生労働白書」平成25 年版より作成)	不正確である。 (「平成25年版」)	3-(1)				
58	183	側注4	1960年代にデンマークのバンク＝ミケ ルセンが最初に提唱した。	不正確である。 (「1960年代」)	3-(1)				
59	口絵9		1998 家電リサイクル法施行	不正確である。 (「施行」)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 27-72		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	12	囲み	合計特殊出生率の国際比較	不正確である。 (出典)	3-(1)				
2	19	中	日本国憲法 第24条 ①婚姻は、両性の合意のみに、 基づいて成立し、	不正確である。 (「基づいて」)	3-(1)				
3	19	中	民法 第733条 女は、前婚の解消又は取り 消しの日から	不正確である。 (「取り消し」)	3-(1)				
4	22	側注4	高齢者虐待の防止、高齢者の擁護者に 対する支援等に関する法律	誤記である。 (「擁護」)	3-(2)				
5	42 - 43		発展 出産・育児について、みんなで 考えてみよう	学習指導要領に示す内容を発展的な学習内容として 扱っている。	2-(14)				
6	43	上	妊産婦の死亡数の割合 5歳未満の子どもの死亡数の割合 吹き出し こんなに違う！	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を比較しているのかについて不明確)	3-(3)				
7	44	7 - 8	子どもは時に、わけもなく泣いたり、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「わけもなく泣いたり、」)	3-(3)				
8	44	図16	性的虐待：わいせつな行為をすること	不正確である。 (記述不足)	3-(1)				
9	45	図17	(厚生労働省「平成24年保育所関連状 況取りまとめ」より)	不正確である。 (「平成24年」)	3-(1)				
10	48	表7	児童の権利に関する条約(抜粋、要約) 右下囲み 世界の子ども 左表を見ながら考えてみよう。 ぼくは、10歳から、カカオ農園で働い	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされてい ない。 (表7の記述が不足している。)	2-(13)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 27-72		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			ていて、2年になります。農園では、毎日重いものを運び、刃物を扱うので、いつも体が痛く、けがをしています。						
11	63	図18	地域抱括ケアシステムのイメージ	誤記である。 （「抱括」）	3-(2)				
12	73	図2	一升 (1.8kg)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （一升が1.8kgであるかのように誤解するおそれがある。）	3-(3)				
13	74	図3	日本人1人1日あたり供給熱量のPFC比率 （農林水産省「平成25年度食料需給表」より）	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)				
14	78	10 - 11	肉、魚、卵などの動物性食品や大豆の方が、植物性食品に比べてたんぱく質の栄養価は高い。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （大豆が植物性食品ではないかのように誤解するおそれがある。）	3-(3)				
15	79	13 - 15	サプリメントなどにより多量に摂取し続けると過剰症になる場合がある。水溶性ビタミンは、過剰にとっても尿から排泄され、過剰症は起こらない。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （水溶性ビタミンの過剰症について）	3-(3)				
16	81	表11	ながいも 表12 大豆、あずき、そら豆 82ページ 図12 β-カロテン 84ページ 図14 卵黄 100ページ 表36 薄口しょうゆ、米	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)				
			みそ（赤色、辛）						
17	91	表27	漂白剤 亜鉛素酸ナトリウム	誤りである。 （「亜鉛素酸」）	3-(1)				
18	92	表28	耐容上限量 週間的な	誤記である。 （「週間的な」）	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 27-72		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
19	93	表30	日本人の食事摂取基準	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
20	95	表33	4つの食品群による摂取量のめやすと食品の概量 牛乳1本(200mL) 220g 小麦粉 1カップ 90g	相互に矛盾している。 (100ページ 図25 カップ・スプーン1杯の重量と矛盾)	3-(1)
21	97	表35	「4つの食品群による摂取量のめやす」による食品構成 鶏の唐揚げ 砂糖 及び、*みりんは砂糖の1/3量、	相互に矛盾している。	3-(1)
22	104	囲み	蒸し器を利用しない方法	生徒にとって理解し難い表現である。 (沸騰までの鍋のふたの有無、予熱について)	3-(3)
23	106	右	太巻き寿司の具 かんぴょう、干しいたけ	生徒にとって理解し難い表現である。 (太巻き寿司具の塩分量)	3-(3)
24	118	4 - 5	2013年に食品安全基本法が制定された。	誤りである。 (「2013年」)	3-(1)
25	119	5	2013年には「健康日本21(第二次)」が発表された。	不正確である。 (「2013年」)	3-(1)
26	149	1 - 3	親子や夫婦のプライベート空間を別に する就寝分離④の考え方も、nDK型(n は個人空間である私室の数)と呼ばれ る間取りに反映されるようになった。 側注4 就寝分離：生活空間と就寝空	生徒にとって理解し難い表現である。 (就寝分離について、記述が整理されていない。)	3-(3)
			間を別にすること。国が定める居住水 準では、親子の寝室を分けること、12 歳以上の子どもは性別で寝室を分ける こととしている。		
27	150	図8	侵入窃盗の発生場所(一戸建て住宅) 侵入方法	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 27-72		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
28	151	図10	住まいの中の事故による年間死亡者数	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
29	157	側注6	道路・公園・下水道などの	誤記である。 (「公園」)	3-(2)
30	178	7 - 8	その資金は銀行などの金融機関などに貸し出されている(オ)。 及び、同ページ 図14 (オ)	相互に矛盾している。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-83		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	20	20	現行民法（1947年改正施行）では、 （同ページ 表18 現行民法 1947年 （昭和22）年改正施行も同じ）	不正確である。 （「改正施行」）	3-(1)				
2	36	22 - 24	新生児のころには、すでに満足・喜び ・悲しみの感情をあらわし、3か月こ ろまでには、驚き・喜び・悲しみの感 情をあらわすこともわかってきた。	生徒にとって理解し難い表現である。 （喜び・悲しみの感情をあらわす時期について）	3-(3)				
3	39	囲み	子どもとのふれ合い 多くの人に守り、支えられて生きてき た。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「守り、支えられて」）	3-(3)				
4	59	図28	イギリス 5.9	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)				
5	60	右下	32介護保険制度のしくみと介護サービ ス 要介護認定 介護保険審査会において、	不正確である。 （「介護保険審査会」）	3-(1)				
6	60	図30	2013年4月サービス分 447	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)				
7	62	側注4	高齢者虐待 ②擁護を著しくおこたる	誤記である。 （「擁護」）	3-(2)				
8	65	図5	平均寿命と健康寿命の差 （日常生活に制限のない期間）	生徒にとって理解し難い表現である。 （「制限のない」）	3-(3)				
9	70	左	4障害者権利条約（一般条約）	不正確である。 （「一般条約」）	3-(1)				
10	78	側注1	体重（Kg）	表記の基準によっていない。 （「Kg」）	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-83		学校 高等学校		教科 家庭		種目 家庭基礎		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	80	図7	(内閣府「2013年版 食育白書」)	不正確である。 (「2013年版」)	3-(1)				
12	82	図12	*自給率カロリーベース 食料のもっているカロリーを基準にして 全食料中の輸入量を計算する。	不正確である。 (「輸入量を」)	3-(1)				
13	88	囲み	おもな魚料理のなかのIPA量 くろまぐろ 刺身 5切60g IPA約870mg	不正確である。 (「くろまぐろ 刺身」)	3-(1)				
14	90	表24	含流アミノ酸 ※含流アミノ酸は	誤りである。 (「含流」)	3-(1)				
15	92	囲み	人体に含まれる無機質 有機物質(水素, 酸素, 炭素, 窒素) のほかに,	生徒にとって理解し難い表現である。 (「有機物質(水素, 酸素, 炭素, 窒素)」)	3-(3)				
16	93	囲み	食品の機能性成分 カロテノイドの仲間 カプサイシン	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (カプサイシンが他の成分と同様にカロテノイド類 とされるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)				
17	94	左中	缶詰, レトルト食品 一般にはレトルトパウチ食品ともいわ れる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (缶詰, レトルト食品, レトルトパウチ食品につ いて)	3-(3)				
18	96	図33	食中毒の発生原因(事件数別割合)	生徒にとって理解し難い図である。 (発生原因別事件数, 事件数別割合, 事件総数につ いて)	3-(3)				
19	96	表34	食中毒の原因と予防法	生徒にとって理解し難い表現である。 (細菌性食中毒の種類と説明, ジャガイもの扱い, ヒスタミンによる食中毒の関連食品と予防方法につ いて不明確)	3-(3)				
20	98	17 - 19	農産物, 畜産物, 水産物はいずれも生 産場所や生産方法が異なるため, 原産 地を表示することになっている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「生産場所や生産方法が異なるため, 原産地を表 示する」)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

5 枚中 3 枚目

受理番号 27-83		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	98	下	information その効果は岩塩のなかの亜硝酸塩であることがわかり、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (岩塩をつけた肉が変色しにくく食中毒にもなりにくい理由について)	3-(3)
22	99	15	その他あわびなどを使用した場合はその表示が推奨されている。	誤りである。 (あわびの遺伝子組み換え表示の推奨)	3-(1)
23	101	表45	ビタミンD (μg日)	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
24	103	表47	赤群 摂取できる栄養素 ビタミンB	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ビタミンB」)	3-(3)
25	103	表48	第1群 肉類 第6群 豚ばら肉	生徒にとって理解し難い表現である。 (肉類の分類について)	3-(3)
26	105	表52	6つの食品群の食品群別摂取量のめやす 表53 6つの食品群の食品群別概量	生徒にとって理解し難い表現である。 (計算方法、1日分のとり方について記述不足)	3-(3)
27	106	図55	1献立を考える 汁物を決める +果物や飲み物・汁物を決める	生徒にとって理解し難い表現である。 (「汁物を決める」(2箇所))	3-(3)
28	108	囲み	いろいろな調理法と特徴 5℃～0℃ 寄せる 寒天、ゼラチン、 でんぷんなどの液に食品を混ぜ合わせてかためる	生徒にとって理解し難い表現である。 (でんぷんの液のかたまる温度について)	3-(3)
29	109	囲み	計量器 米の「1カップ」とはこの1合カップのことをさす。	不正確である。 (記述不足)	3-(1)
30	117	囲み	本格的なパイヨンの取り方	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (本格的な取り方について不明確)	2-(13)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-83		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
31	119	右下	涼拌三絲 きゅうりのせん切りのイラスト	生徒にとって理解し難い図である。 (重ね方)	3-(3)	
32	120 - 121		かぼちゃの茶きんサラダ 写真 及び, つくり方2 皮をのぞく	相互に矛盾している。	3-(1)	
33	123	中	奶豆腐 ※棒寒天を使う場合: 1.3g (液体の1%) の棒寒天を洗ってボールに入れ, 水で戻す。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「1.3g (液体の1%)」)	3-(3)	
34	125	表4	電子レンジ加熱とガス加熱の比較	生徒にとって理解し難い表である。 (加熱時間と光熱費の関係について)	3-(3)	
35	125	表7	脚注 *所要時間は「沸騰または蒸気噴出までの時間」-「加熱継続時間」-「むらし時間」であらわした。 ()内は合計の時間。	生徒にとって理解し難い表現である。 (所要時間の記述について)	3-(3)	
36	139	表22	ウォッシュ&ウエア (W&W) 加工 目的 吸湿性がある。かたく涼感がある。丈夫で, ぬれると強くなる。	誤りである。 (ウォッシュ&ウエア加工の目的として)	3-(1)	
37	139	表22	抗菌・防臭加工 目的 細菌の繁殖と悪臭を防ぎ, 細菌などによって発生する悪臭を防ぐ。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
38	144	図33	注2: $\text{輸入浸透率} = \frac{\text{輸入率}}{\text{生産量} + \text{輸入量} - \text{輸出量}} \times 100$	不正確である。 (輸入浸透率の式)	3-(1)	
39	155 - 22	20 - 22	いずれも1人になるためのスペースとほかの人とのコミュニケーションのための空間が分かれており,	不正確である。 (「1人になるためのスペースと」)	3-(1)	
40	157	図15	BEMS ビル内のエネルギー監視システム CEMS 地域内のエネルギー監視システム HEMS 家庭内のエネルギー監視システム	生徒にとって理解し難い表現である。 (「監視」, 「管理」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-83		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			ム CEMSにより複数家庭、ビル、地域のエネルギーを総合的に管理 BEMSによりビル内のエネルギーを総合的に管理			
41	158	下	information においを取り去る換気を通気という。	不正確である。 （「においを取り去る換気を」）	3-(1)	
42	163	囲み	在来軸組工法の戸建住宅の例 雨水の侵入（2箇所）	誤記である。 （「侵入」）	3-(2)	
43	167	中上	環境要素も清潔さで平均値より低くなりました。	生徒にとって理解し難い表現である。 （健康チェックリストにおける環境要素について）	3-(3)	
44	173	図5	消費者物価指数	生徒にとって理解し難い図である。 （原点）	3-(3)	
45	180	右下	リボルビング払いの支払い例 255円（50,000円×15%÷365日×31日）	不正確である。 （「50,000円」）	3-(1)	
46	183	右下	21消費者の8つの権利 （同ページ 22消費者の5つの責任も同じ）	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)	
47	192	図5	できる部分から循環型社会に移行すべきである	不正確である。 （出典に照らして）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 1 枚目

受理番号 27-90		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	2 口絵	中	高等学校学習内容 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	不正確である。 (「学校家庭クラブ」)	3-(1)
2	9	9 - 10	現代では、人生が長くなり、各ライフ ステージも長くなってきている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すべてのライフステージが長くなるかのように誤 解するおそれがある。)	3-(3)
3	9	下	2ライフステージと発達課題 壮年期 20代前半ごろ～ 及び、青年期 ～20代前半ごろ	相互に矛盾している。	3-(1)
4	9	下	マメ知識 15歳の平均余命になると、男子は 65.52年、女子は71.89年である。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
5	13	右	1配偶者からの暴力の防止及び被害者 の保護に関する法律 通称DV防止法(ドメスティック・バイ オレンス法)といわれる。	不正確である。 (「保護に」、「ドメスティック・バイオレンス法 」)	3-(1)
6	16	8 - 10	家族は、互いに愛情を感じ合い、心配 し合う関係であると思われているが、 時には重荷に感じたり、憎しみを抱い たりするなど、さまざまな感情が行き 交う関係である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (家族は愛情を感じ心配し合うのではなく、重荷に 感じ憎しみを抱くだけであるかのように誤解するお それがある。)	3-(3)
7	16	13	そうした集団や場所を家庭という。 及び、同ページ 2～4行 家族は、一 般に、父・母、きょうだい、夫・妻な ど、結婚や血縁などによってつながり のある人びとやその集団	相互に矛盾している。	3-(1)
8	18	図1	初婚年齢の推移	不正確である。 (「初婚年齢」)	3-(1)
9	18	図1	横軸	図は、通常の方法に従って記載されていない。 (横軸の目盛り)	固有 3-(1)
10	19	図2	凡例 夫再婚・初婚	不正確である。 (「初婚」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-90		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	22	左	1日本国憲法第24条 婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し、	不正確である。 （「基づいて」）	3-(1)	
12	23	8 - 9	直系家族および兄弟姉妹は互いに扶養し合う義務がある。	不正確である。 （「直系家族」）	3-(1)	
13	23	9 - 11	特別の事情があるときは、三親等以内の親族（曾祖父・おじ・おば・おい・めいなど）においても扶養義務が生ずることもある。	不正確である。 （「曾祖父」）	3-(1)	
14	23	図5	姻族とは、婚姻によって親族となった配偶者の血族のことをいう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （姻族は配偶者の血族のみであると誤解するおそれがある。）	3-(3)	
15	26	6 - 8	1994年の国際家族年では、一つの理想的な家庭像を追及することをさけるべきだと宣言され、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「一つの理想的な家庭像を追及することをさけるべきだと宣言され」）	3-(3)	
16	26	17 - 20	近年では、家族の集団性を強調するのではなく、個人と個人の関係性のもとに家族をとらえるようになってきており、家族のとらえ方も変化しつつある。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「個人と個人の関係性のもとに家族をとらえるようになってきており」）	3-(3)	
17	26	図1	年齢別労働力率の推移	生徒にとって理解し難いグラフである。 （単位）	3-(3)	
18	27	図6	就業者および管理職に占める女性の割合	不正確である。 （出典）	3-(1)	
19	31	7 - 9	愛着から得る安心感から、6か月ころから、あちこち動き回ったり、なんでもなめたりさわったりする探索活動を盛んに行うようになる。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「6か月ころから、」）	3-(3)	
20	31	図6	社会的微笑（3か月ころ～） 親など特定の親しい人を区別した微笑	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （社会的微笑の説明として）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 3 枚目

受理番号 27-90		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	35	下	マメ知識 乳幼児のお昼寝時間は1時間から2時間くらいがよいとされている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (乳児のお昼寝時間について)	3-(3)
22	38	下	マメ知識 スウェーデンでは男性も最低2か月は必ず育児休業を取得するように義務づけられている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (スウェーデンの育児休業について)	3-(3)
23	45	図5	虐待を行った者 実父以外の父 29.0%	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
24	47	5 - 6	児童自立支援施設や情緒障害児多岐治療、	誤りである。 (「情緒障害児多岐治療」)	3-(1)
25	50	下	(34とも厚生労働省「国民生活基礎調査」2011年)	不正確である。 (「2011年」)	3-(1)
26	53	図5	高齢者と交流したいと思っている世代	不正確である。 (「高齢者と交流したい」)	3-(1)
27	56	側注2	地域における高齢者の総合相談、権利擁護、介護予防事業、ケアマネジメントなどを行っている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (地域包括支援センターの業務について)	3-(3)
28	57	表3	(厚生労働省「厚生労働白書」2014年)	不正確である。 (「2014年」)	3-(1)
29	57	囲み	高齢化の地域差 沖縄県	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
30	59	右	1自助・共助・公助の役割分担 公助 自分たちのまちは自分たちで守る	生徒にとって理解し難い表現である。 (公助の説明として)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 4 枚目

受理番号 27-90		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
31	59	右	1自助・共助・公助の役割分担 共助 行政連携による救出活動など	生徒にとって理解し難い表現である。 (共助の説明として)	3-(3)
32	61	8	地域住民の民政委員	誤記である。 (「民政」)	3-(2)
33	62	19 - 20	高齢者の生活を支える基本的な法律として、老人福祉法、老人保健法、介護保険法(⇒p.56)がある。 (同ページ 2高齢者の生活を支える基本的法律 老人保健法も同じ)	不正確である。 (「老人保健法」)	3-(1)
34	63	囲み	国民年金保険料納付率 (国民健康保険料滞納状況も同じ)	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)
35	64	10 - 11	子ども・子育て新制度 65ページ 下囲み 「子ども・子育て支援新制度」	表記が不統一である。	3-(4)
36	64	図3	横軸	図は、通常の方法に従って記載されていない。 (横軸)	固有 3-(1)
37	74	図1	栄養素等摂取量の推移	不正確である。 (出典に照らして)	3-(1)
38	74	図2	PFCバランスの比較	生徒にとって理解し難い図である。 (図の説明が不足している。)	3-(3)
39	76	図1	各国の食料自給率	図は、通常の方法に従って記載されていない。 (目盛りと目盛り線の対応)	固有 3-(1)
40	78	下	マメ知識 準完全栄養食品といわれている卵や牛乳でも、ビタミンCは含まれていない。	不正確である。 (卵や牛乳に含まれる栄養素について)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 5 枚目

受理番号 27-90		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
41	79	図3	胃 胃液によってさらに分解する。 小腸 脂質は脂肪酸とグリセロールに	不正確である。 (「胃液」, 「脂肪酸とグリセロールに, 」)	3-(1)
42	80	表1	二糖類 乳酸	誤りである。 (「乳酸」)	3-(1)
43	81	表2	食品 (g)	誤記である。 (「(g)」)	3-(2)
44	81	表4	ビタミンB1 でんぷんが糖質に変わり	誤りである。 (「B1」, 「糖質」)	3-(1)
45	81	囲み	もち米がもちになるのは? ご飯が冷めるとおいしくないのはなぜ? の図	生徒にとって理解し難い図である。 (アミロペクチン, アミロース, 生でんぷん, 糊化などについて, 記述が整理されていない。)	3-(3)
46	83	図4	脂肪酸の構造	生徒にとって理解し難い図である。 (図の3色の○について, 説明がない。)	3-(3)
47	84	表3	卵の調理性 調理例 ソース	生徒にとって理解し難い表現である。 (調理例としてのソース)	3-(3)
48	85	表4	アミノ酸のもともめ方 アミノ酸評点パターン トリプトファン 食パンの値 32 表下 アミノ酸含量はアミノ酸成分表 2013表による。	不正確である。 (「アミノ酸の」, 「アミノ酸評点パターン」の数 値の単位, 「32」, 「2013表」)	3-(1)
49	85	図5	リシンが少ない食パンとリシンが多い 牛乳を組み合わせた例 及び, 食パン, 卵, フレンチトースト の図	相互に矛盾している。	3-(1)
50	87	図3	ビタチン	誤りである。 (「ビタチン」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 6 枚目

受理番号 27-90		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
51	87	側注2	600 μ g	表記の基準によっていない。 (「 μ 」)	3-(4)
52	87	下	マメ知識 ビタミンFやビタミンGなどは、その後ビタミンとは呼べないことがわかり、	不正確である。 (「ビタミンG」)	3-(1)
53	88	図1	13か月以上は年月で表示	不正確である。 (「13か月」)	3-(1)
54	94	表	日本人の食事摂取基準	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)
55	94	下	マメ知識 エネルギー(熱量素)は計算できる。	不正確である。 (「熱量素」)	3-(1)
56	98	上	和食の献立をつくろう 栄養価 (104ページ ドライカレー, 105ページ 親子どんぶりも同じ)	不正確である。 (材料の栄養価計算に照らして)	3-(1)
57	98 - 99		かぼちの煮物 材料 水, A 及び, つくり方2 豆腐と三つ葉のすまし汁 材料 だし汁, こんぶ, かつおぶし, 水 及び, つくり方1	相互に矛盾している。	3-(1)
			102~103ページ 炒麺 材料A 及び, つくり方4 106ページ コールスロー 材料 サラダ油, A 及び, つくり方2		
58	99	下	マメ知識 たんぱく質は50度以上で分子の結合が切れ, 金属に付着するが,	生徒にとって理解し難い表現である。 (「たんぱく質は50度以上で分子の結合が切れ, 」)	3-(3)
59	101	右	肉の部位 (牛肉) 水色の部分	生徒にとって理解し難い図である。 (部位の記述がない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-90		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
60	106	右	きんぴらごぼう 材料, つくり方2 及び, 写真 107ページ 即席漬け 材料, つくり 方3 及び, 写真	相互に矛盾している。	3-(1)	
61	107	右	ナムル 材料 大豆もやし…大さじ3	生徒にとって理解し難い表現である。 (「大さじ3」)	3-(3)	
62	111	下	マメ知識 衣服は, 上着, スカート, ズボン, 下 着, コートなど人間の胴部をおおうも のの総称。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「胴部」)	3-(3)	
63	113	表3	ポリエステル 強さ, 速乾性, 寸法, 安定性がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「寸法」がある)	3-(3)	
64	115	表5	防炎, 難炎加工	不正確である。 (「難炎」)	3-(1)	
65	116	左	オーガニックコットンマーク 図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (オーガニックコットンに付けられるマークがこれ のみであるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
66	117	表3	植物性繊維 (112ページ 11行 植物繊維) 動物性繊維 (112ページ 12行 動物繊維)	表記が不統一である。	3-(4)	
67	119	8 - 9	人に与える第一印象の決定因子は, 見 た目が多く占めるといわれる。 (図3 メラビアンの法則も同じ)	誤りである。 (メラビアンの法則について)	3-(1)	
68	119	右	4色と服装の効果的な活用 色の組み合わせによって異なる印象を 生み出す。 及び, 図	相互に矛盾している。	3-(1)	
69	121	下	マメ知識 日本のストリートファッションは, 1970年代の高度経済成長期に始まった 。ベビーブーマーの若者たちがティーン ・エイジャーとなり, 銀座, 六本木	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ストリートファッションについて)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 8 枚目

受理番号 27-90		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
			， 渋谷に集まり， 欧米の影響を受け入れたファッションスタイルを共有した。		
70	122	表2	取扱い絵表示（家庭用品品質表示法）ISO	生徒が誤解するおそれのある表現である。（家庭用品品質表示法においてISOが引用されているかのように誤解するおそれがある。）	3-(3)
71	123	下	その他のマーク NEW WOOL 100%ウールマーク	生徒が誤解するおそれのある表現である。（「NEW WOOL 100%ウールマーク」）	3-(3)
72	123	下	その他のマーク コットンマーク 紡績から縫製まで日本製で，綿100%製品につけられる	不正確である。（「コットンマーク」，「紡績から縫製まで日本製で」）	3-(1)
73	123	下	その他のマーク おむつカバーの合格証	学習上の支障を生ずるおそれがある。（マークが不明瞭）	2-(1)
74	123	下	その他のマーク SEKマーク 抗菌加工，防菌防臭加工繊維製品などにつけられる表示	不正確である。（「防菌」）	3-(1)
75	130 - 131		発展 環境に配慮した製作をしてみよう	発展的な学習内容には該当しない。	2-(14)
76	131	左	素材の準備 ・布綿：25cm×25cm 及び，裁ち方 図 21，23.5	相互に矛盾している。	3-(1)
77	136	図4	縁側	不正確である。（指示線）	3-(1)
78	138	図1	年齢別家庭内事故死の割合	不正確である。（出典に照らして）	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-90		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
79	139	図4	修繕・改修による住宅の性能回復	生徒にとって理解し難い表現である。 （「修繕」、「改修」、「改築」、「改善」）	3-(3)	
80	140	囲み	暖房器具はどこに置く？窓際それとも室内奥？ 放熱器を室内に置くと窓面の冷たい空気は、床面に直接流れ込むため、床面と天井の温度差が大きくなる。一方、	生徒にとって理解し難い表現である。 （「窓面の冷たい空気」、「窓から入っている空気」）	3-(3)	
			放熱器を窓際近くに置くと窓から入っている冷たい空気が暖められ、床面と天井面の温度差が小さくなって快適性が増す。			
81	141	図4	住宅の照度基準	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
82	144	表1	用途地域と建築制限の例	不正確である。 （用途地域内の建築物の制限の表として）	3-(1)	
83	150	14 - 15	財産高を減らさない収入を実収入以外の受取という。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「財産高を減らさない収入」）	3-(3)	
84	150	17	財産高を増やさない支出を実支出以外の支払という。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「財産高を増やさない支出」）	3-(3)	
85	150	囲み	収入の減少 平均月間給与の推移	不正確である。 （出典）	3-(1)	
86	150	囲み	一人暮らしにかかる支出 30歳未満単身者の収支（1か月平均）	生徒が誤解するおそれのある表である。 （実収入）	3-(3)	
87	152	下	マメ知識 金利0.03%で10万円を預けると、1年後に100,299円になる。	誤りである。 （「100,299円」）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-90		学校 高等学校		教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
88	155	図2	35歳未満女性単身世帯	誤りである。 (出典に照らして)	3-(1)	
89	157	右下	使用した結果を商品の良し悪しや使い勝手, 状況に応じて廃棄方法について自治体の回収方法を把握しよう	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
90	158	図1	ネットショッピングの売り上げ増加	生徒にとって理解し難い図である。 (数値の意味)	3-(3)	
91	161	図3	貸金法が変わって, 自己破産が減った。 及び, 同ページ 17~18行 貸金業法や出資法の改正により, 消費者金融の営業行為や金利に関する規制を強めて	相互に矛盾している。	3-(1)	
			いる。			
92	163	囲み	消費者からの声をいかした商品改善事例 カップ麺の蓋にお湯の目安量を記した。 及び, 写真	相互に矛盾している。	3-(1)	
93	166	10 - 11	消費の自立が求められたため,	生徒にとって理解し難い表現である。 (「消費の自立」)	3-(3)	
94	166	左	事業者の責務 ④苦情の体制を整備し,	生徒にとって理解し難い表現である。 (「苦情の体制」)	3-(3)	
95	170	囲み	生活協同組合 (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (生活協同組合の説明として)	3-(3)	
96	173	図2	男女間賃金格差の国際比較	生徒にとって理解し難い図である。 (数値の意味, データの年度)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

11 枚中 11 枚目

受理番号 27-90		学校 高等学校	教科 家庭	種目 家庭基礎	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
97	176	18 - 20	自分はどのような生活価値を重視したライフスタイルを選ぶのか、そしてその実現のためには活用するのかを考え、	生徒にとって理解し難い表現である。 （「その実現のためには活用するのか」）	3-(3)
98	179	左	吹き出しの例を参考に	生徒にとって理解し難い表現である。 （「吹き出しの例」）	3-(3)
99	184	中	いま、なんじ？ 自分の身近な生活を改めて見回してみると、さまざまな生活課題があることに気づく。それらの課題から自分の力でできるテーマを決める（実践例参照）。	誤記である。	3-(2)
100	189	中	朝食 ピザトーストの具はさまざまな色、形のピーズやボタンを使った。黒ピーズを使っていちごの種を表現した。	誤記である。	3-(2)
101	194	下	インド料理圏 カレーなどの各種香辛料を多用し、	生徒にとって理解し難い表現である。 （「カレーなどの各種香辛料を」）	3-(3)
102	196	上	気候・風土が生み出す多様性 二十四節季の区分に分けられる。	不正確である。 （「二十四節季」）	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。